



校長だより 第33号

すてきな島



H27.10.23 日間賀中学校長 井本 仁

「あいさつは先に」
「返事は大きく」
「気づき、考え、行動する」

学校祭に向けてがんばっています

いよいよ今年度の学校祭が来週（10月27日）にせまってきました。どの学級の生徒も楽しみながら、一生懸命に準備をしています。今年の学校祭のテーマは「華」。華のある素敵な学校祭になることを期待しています。保護者の皆様、当日はぜひお越しいただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。



10月13日(火)音楽鑑賞会

この日、東京フィルハーモニー交響楽団の3名の方とNHKアナウンサーの内山俊哉氏が日間賀小学校体育館にお越しくださり、音楽鑑賞会を実施しました。弦楽三重奏の中、内山氏が「ごんぎつね」を朗読してくださいました。最後に、日間賀小中学校の児童生徒も一緒になって合唱し、とても貴重な体験をすることができました。



10月19日(月) 朝会

生徒発表 (10月のテーマ：心温まる話について)

鈴木 愛加 さん (3年)

- 先日行った関東東北水害義援金募金の活動で、たくさんの人の協力で、たくさんの募金が集まった。
- 小さい子が入れてくれたり、たくさんの人から「がんばってね」と言われたりして、この募金活動のようなボランティア活動のよさを感じた。
- ちょっとした一言や少しの協力だけでこんなにうれしいんだなということをもっと体験できた。

鈴木 七海 さん (2年)

- この間、日間賀島に旅行に来たお客さんが泊まる所がなくて困っていたところ、ある旅館の女将さんが一緒に探してあげたのだが、結局無くて、空いている自分の家の部屋を貸して、朝ご飯も出してあげたという話を聞いた。
- この女将さんのような、困っている人のために一生懸命になれる人がたくさんいる島に住んでいてよかったと思った。

鈴木 凌我 さん (1年)

- 家に帰ると、親が「お帰り」と言ってくれたり、食事の準備やお風呂の用意をしてくれたりすることを当たり前だと思っていた。
- 日間賀島に大きな津波が来ると、家などが無くなり、住む場所や食べるものにも困ってしまうことを考えると、今の当たり前がすごく幸せなことだと思う。
- 当たり前の日々感謝して「ありがとう」などの言葉を心を込めて言いたい。

教頭先生の話

この日の朝会では、こんな話をしました！

「はい どうぞ！」「ありがとう！」

先日の定期テストで、ある学年にテスト監督に行きました。チャイムが鳴り、全員が静かに席に座っている様子をふと観察しました。

- 夜遅くまで勉強していたようで、眠たそうな顔をしている子
- 「さあ、がんばるぞ！」と緊張した顔をしている子
- 「しまった、寝てしまった！」と不安そうな顔をしている子

など、さまざまな顔がありました。

私がテスト用紙や解答用紙を配布するために先頭の子に渡すと、列の先頭の全員の子が「ありがとうございます！」と言って受け取ってくれました。配ってくれる人にお礼が言える子たちなんだなと、少し感動しました。さらに驚いたことは、後ろの子に渡すときに「はい どうぞ」「ありがとう！」「サンキュー」といった声があちらこちらから聞こえてきました。中には、相手の顔を見てにこっと笑っている子もいました。それを見てとても気持ちが温かくなりました。その後、その学級の子たちはとてもよい雰囲気、緊張感を持ってテストに臨んでいました。

ちょっとした一言で、周りの気分・雰囲気がよくなることがあります。学校祭も近づき、学級のまとまりが大切な時期、ちょっと意識して行動してみたらどうでしょうか。